

(1 pから)

■抗議行動に起とう

2つの抗議行動が企画されています。1つは「10・15大飯原発うごかすな！関電包囲全国集会」、もう一つは「12・3大飯原発うごかすな！現地全国集会」です。ともに主催は「大飯原発うごかすな！実行委員会」。福島原発過酷事故から6年、何の反省もなく原発再稼働に突き進む政府、電力会社に抗議しましょう！

★10・15大飯原発うごかすな！関電包囲全国集会★

日時：10月15日(日) 13:00～14:45
場所：関西電力本店前(最寄り駅 地下鉄四ツ橋線「肥後橋」駅／京阪中之島線「渡辺橋」駅)
※集会後うつぼ公園へ移動して15:30デモ出発

★12・3大飯原発うごかすな！現地全国集会★

日時：12月3日(日)13:00
場所：おおい町総合町民センター大ホール(町役場となり)
(最寄り駅 JR「若狭本郷駅」)
※集会終了後デモあり



大飯原発再稼働反対！ 12・3現地全国集会も

■地元合意だけですめるのはおかしい

関電が1～3月に再稼働すると言っている大飯原発3、4号機について、福井県議会は9月28日、再稼働を前提に、国への要望項目をまとめた意見書を賛成多数で可決しました。再稼働に事実上同意したことになります。おおい町の中塚寛町長と町議会もすでに再稼働に同意し、西川一誠知事が最終的な判断をするだけとなっています。

しかし、ひとたび事故が起これば近畿一円に重大な影響を及ぼす原発の再稼働を地元合意だけで決めていいはずがありません。若狭の原発を考える会の木原壮林さんは、合意した中塚寛おおい町長に抗議する文書の中でこう言っています。

「若狭の原発で福島級の重大事故が起これば、若狭や京都、滋賀の北部はもとより、京都府、滋賀県の全域、関西のかなりの部分が放射性物質にまみれる可能性があります。この地域の500万人を超える住民が避難対象になりかねません。避難は不可能です。おおい町長や町議会は、おおい町民の安全安心に関する責任を負っていることは、当然ですが、こと原発事故に関しては、極めて広域かつ多数の周辺地域住民についてもその安心、安全を考える義務があります。

大飯原発が重大事故を起こして、周辺自治体住民に被害が出たとき、おおい町は、どう責任をとるかを具体的に明らかにすべきです。」
(4 pにつづく)



2017年10月6日

STOP原子力★関電包囲行動

ブログ：<http://stop-kanden.seesaa.net/>

連絡先：東大阪市源氏が丘16-10 源氏が丘教会気付